

第5回市民と議会の意見交換会開催報告

1. 日時

平成29年5月21日（日） 午後2時01分 ～ 午後3時36分

2. 場所

西代里山公園管理棟学習室

3. 説明員

議長	上村真造		
副議長	浜野利夫（司会）		
議会運営委員長	進藤裕之		
議会運営委員等	綿谷正己	小原明大	
	近藤麻衣子	三木常照	
	田村直義	福島和人	

4. 来場者

市民（20人）

5. 出席議員（9人）

富田達也	白石多津子	藤本秀延
大伴雅章	山本智	石井啓子
岩城一夫	八木浩	藤井俊一

6. その他の出席者

議会事務局（6人）

7. 内容

(1) 開会の挨拶〔上村真造議長〕

(2) 平成29年度予算審議を含む3月議会を終えての議会報告

〔進藤裕之議会運営委員長〕

(3) 各会派からの議会報告

〔日本共産党長岡京市議会議員団・小原明大議員〕

〔民主フォーラム・綿谷正己議員〕

〔平成市民クラブ、平成同志クラブ、平成西山クラブ・三木常照議員〕

〔公明党長岡京市議会議員団・福島和人議員〕

(4) 3月議会報告への参加者からのご質問、ご意見

【道の駅的施設等観光施策と周辺地域の道路整備は】

- 市民** 道の駅的施設などの検討がされているが、観光で人が来ると渋滞が起きて緊急車両の通行が困難になるなど周辺地域に迷惑がかかることが想定される。どのように考えるか。
- 進藤裕之議員（議会運営委員長）** まだ道の駅的施設の基本構想が出た段階であるため、予算として提案された段階でしっかり議論をしていきたい。道路整備については御要望として受け止めたので、行政に伝えたい。
- 小原明大議員（日本共産党）** 構想が出されてから議会をやっていないので、次の6月議会から議論を始める。農作物の確保は可能かなど、道の駅的施設を本当に設置するだけの効果が得られるのかしっかりチェックしたい。国を挙げて観光を盛り上げているが大切なのは地元の事業者の発意だと考える。押し付けにならないよう、しっかり論議したい。
- 綿谷正己議員（民主フォーラム）** まだ構想の段階なので、しっかり議論していきたい。うまく経営できるか、民間の運営母体がちゃんと手を挙げていただけるかという視点でやっていきたい。渋滞対策についてもしっかり議論していきたい。
- 三木常照議員（平成クラブ）** 公設民営でないとうまくいかないと考える。周辺の道路整備を配慮し、地域経済活性化の起爆剤になるよう考えていきたい。
- 福島和人議員（公明党）** 行政として、観光戦略に立ち、来られた方々をどう誘導するか、地元の事業者に収入を反映できるかというあたりを考えていくという立場で、道の駅的施設がどういう役割を果たすか、しっかり議論しながら進めていきたい。渋滞対策についても議論していきたい。
- 八木浩議員** 地元農家を含めた協力体制があつてこそである。現在の計画より規模を縮小した形で始めるということも踏まえてじっくり考えていくべき。観光バスの待機場所の確保にも取り組んでおり、今後もそういった場所を有効活用しながら発信していきたいと考える。
- 富田達也議員** 道の駅的施設をどのくらいの人が必要としているかから考えていくべき。行政として勝てる戦略を立ててから観光行政に取り組むべきと考える。ただし、観光客が一人当たり400円しか落としていないというのは見直すべきと考えているので市として観光をどのように取り組むかが一番重要であると考え。市民の皆さんを巻き込んだ議論が必要である。

【観光都市長岡京を】

- 市民 長岡京市はみどり豊かでいろんな観光地がある。市の行政と議会が協力して、観光のまち長岡京ということでいろんな方に来ていただけるようお願いします。

【市民参加型事業評価とは】

- 市民 新規事業として市民参加型事業評価の実施ということで15万円予算計上されているが、どのような内容か。

- 進藤裕之議員（議会運営委員長） 具体的な中身はこれから検討と回答をいただいている。市民参加で行政の事業評価をしていきたいと聞いている。

【市民参加型事業評価にあたり、市民の声を聞いてほしい】

- 市民 地域コミュニティに携わっているが、事業評価にあたり、市民参加で行う方向と聞いている。どういった形で評価されるかが気になっているが、市民のさまざまな事業について思いも含めて声を聞いていただきたい。

【待機児童問題についての考えは】

- 市民 12月当初100人の待機児童があったが、現在60数名ということであるが、減った理由は。道の駅的施設をつくるより保育所不足を解消するほうが魅力あるまちになると考える。待機児童解消について考えは。

- 進藤裕之議員（議会運営委員長） 待機児童数というのは公立の関わる保育所の待機児童ということなので、詳細については把握していないが、認可保育施設等に入所されたこともあると考える。

- 小原明大議員（日本共産党） 今議会でも市の責任で保育所をふやすよう提起したため、それを原則としつつも、具体的に進んでいくよう訴えていきたい。増築、保育所開設の計画はあるが、今後保育所ニーズも増えることを想定して一歩踏み出してほしい。

- 綿谷正己議員（民主フォーラム） 喫緊の課題だと認識している。小規模保育施設の開設や公立保育所の増築など行政も努力しているが、本当になくなるかというのは非常に厳しい課題だと考える。

- 三木常照議員（平成クラブ） 若い世代の転入が増えると保育所のニーズは高まる。保育所の増築や小学校との複合化など行っているが、すぐさま待機児童が解消するということはないため、認可外保育所など民間の力を借りる、幼稚園の時間延長を利用いただくなど対処していくと考える。

○**福島和人議員（公明党）** 喫緊の課題であると考え。民間の力を借りたり、公設では維持していく必要もあるので、若い世代に移り住んでいただくためにしっかり対応を考えていきたい。

○**八木浩議員** 人口急増期を経て、様々な施策を打って保育の受け皿を増やしてきた経過がある。若い世代の方の転入が増え、女性の社会進出も増えている中でその方々の期待に応えられるよう議論していきたい。

○**富田達也議員** 公が責任を持って解消していくべきと考えているが、公の施設を新設するとなると3年、4年と期間が必要になる。すばやく対応するために、小規模保育と連携した幼稚園の活用や、市が民間の保育施設建設に補助制度を設けるなどしていくべきと考えている。

(5) 議会改革についての報告

〔進藤裕之議会運営委員長〕

(6) 議会改革、議会についての参加者からの質問、意見

【一般質問の制限時間は、庁舎建てかえの際にバリアフリーに配慮を】

○**市民** 一般質問の時間と答弁が前もってわかるようにならないか。
庁舎の建てかえを検討しているが、バリアフリーに配慮を願いたい。

○**進藤裕之委員（議会運営委員長）** 本市議会では一般質問は再質問まで可能とする運営を行っている。貴重な御意見として承る。改選後の議会改革検討項目となる可能性もあり、その際にはしっかり議論していきたい。新庁舎のバリアフリーの観点はとても大事であると考えている。意見反映したい。

【議員定数と議員報酬について、考えは】

○**市民** 平成25年に定数が改正されたが、議員定数と議員報酬について、考えは。

○**小原明大議員（日本共産党）** 議員定数は市民の代表なので、少ないほうがいいとは思っていない。報酬については報酬審議会で第三者に論議していただく場もある。市民の皆さんの御意見も伺い考えていかなければならない。

○**綿谷正己議員（民主フォーラム）** 会派の考えとしては22名としていたが、話し合いの中で24名という数字で最終的に決まった。

○**三木常照議員（平成クラブ）** 現在の定数24名を堅持していきたいと考えている。要は仕事の中身だと思っているので、24名が妥当な線でないかと考える。

○**福島和人議員（公明党）** 有権者比で考えると26名で主張していたが、議員のあり方の議論の中で24名で賛成した。市民の声をしっかり聞きながらやっていきたい。

○**八木浩議員** 議員定数については市の人口規模や面積等もあるがその土地ごとに土地柄の人数構成が出来上がっていると思う。最終的にはそのまちごとに判断していくのがいいと考える。

○**富田達也議員** 理論的には議員が多いほど市民の声を聞くことができるが、現在21名で議員が足りないという声は聞こえてこない。22人でもいいと思っている。議員報酬については現状のままでいいと考える。政務活動費についてはもう少しふやしてほしいと考えている。

【議員政策研究会庁舎等再整備研究分科会での議論は】

○**市民** 昨年9月に議員政策研究会が始まり、現在庁舎等再整備について研究しているが、現在どんな声が出ているか教えてください。

○**三木常照議員（議員政策研究会庁舎等再整備研究分科会会長）** 現在は議事堂について議論しており、自由闊達な意見交換を行っている。先進地の視察も予定しており、鋭意研究を行い、市に提言・要望を行いたい。

○**八木浩議員（議員政策研究会庁舎等再整備研究分科会副会長）** 将来的な想定もしながら、より皆さんに親しまれるような議場など、必要な機能、適切な配置を検討していきたい。市が今後出す基本計画、基本設計等のスケジュールにずれることなくやっていきたい。

【議会運営委員会の運営は】

○**市民** 議会運営委員会は、会派に所属していないと委員になれず、また全会一致を原則としている。会派に所属しない議員や一致しない意見について意見反映できるよう仕組みを考えてほしい。校区別にまちづくりの課題に偏りがあると思う。道の駅的施設や庁舎建てかえなど、行政主導型であるという印象がある。議会が後から追いかけているようなイメージがある。

○**進藤裕之委員（議会運営委員長）** 会派の中でも議員の中でもそれぞれの論議があるので、改選後の中での論議になるかと考える。貴重な御意見として受け止める。議会の存在感というのをしっかりそれぞれの場で発揮し、行政に反映できるよう頑張っていきたい。

(7) 閉会の挨拶 〔浜野利夫副議長〕